

精神障害者理解のための講演会

特定非営利活動法人くろめ出逢いの会

くろめ出逢いの会は、精神障害者の福祉向上を目的に、広報紙の発行や講演会・交流会の開催などを通して、市民に理解を広める活動を行っており、今年で20年目を迎えます。さらに、平成26年度から、オープンスペース「ゆるか」を開設しました。

オープンスペース「ゆるか」は、精神的悩みを抱えている人やひとりぼっちと感じている人、生きづらさを抱えている人が寄り添い、集うことができる場所です。

運営スタッフは、全員が精神医療ユーザー（精神科医療を利用したことのある人）で、同じような悩みを経験し、共に寄り添う感覚を大切にする心を心がけています。

これらの活動をより多くの市民に知っていただくこと、共同募金配分金を活用し、「精神障害者理解のための講演会」の開催を予定しています。

精神障害者が地域で生活するためには、安心できる場所はまだまだ少ないです。安全・安心とは何か、いろいろな視点で考えるきっかけを作る必要があります。この講演会では、そのきっかけやヒントを得る事ができると考えています。

講演会に関することやオープンスペース「ゆるか」の利用方法など、気軽に相談ください。

代表：阿部 桂三
TEL：090-1341-9352
場所：青峰2丁目5-1
近本アパート202号室
活動日：火・水・木・金
10時～15時



オープンスペース「ゆるか」の様子

『地域コーディネーター実践活動マニュアル』作成事業

認知症への理解を広める会<久留米>

認知症への理解を広める会<久留米>は、平成22年に発足した市民団体で、現在、会員数は15名です。

高齢化に伴い、急速に増え続ける「認知症」という脳の病気に対する正しい理解を広めながら、誰もが認知症になっても安全・安心に暮らせるような「地域づくり、まちづくり」を目指しています。そのため、市民の皆さんと一緒に「認知症サポーター」の養成や認知症予防啓発活動を行ってきました。

会員は、久留米市の『認知症サポーター養成講座』の運営を担当するキャラバン・メイトで構成しており、発足以来、4年間で1,600名余のサポーターを養成しました。サポーターの、スキルアップとフォローアップのための研修も行っています。

このたび、共同募金配分金により、『地域コーディネーター実践活動マニュアル』を作成します。このマニュアルは、認知症の予防啓発活動を行なうための手引書として、活用するものです。

市民の皆様は認知症に対して正しく理解をしてもらえるよう、今後、市をはじめとする関係機関との連携協力を大切にしながら活動を続けていきます。

会の活動に関心のある人は、お気軽にお問い合わせください。

代表：江上 憲一
TEL：090-9488-7308
メール：ken-ega@kumin.ne.jp



認知症サポーター養成講座の様子